

浅草から「山谷」、そして南千住へ

現在、「山谷」という地名は住居表示から消えたが、台東区清川・日本堤あたりだ。一度たずねてみたいと思っていたので、浅草から南千住に向かった。浅草寺界限は相変わらず観光客で一杯であり、「観光都市」東京の一面を見ることができた。



浅草寺の境内や遊園地を通っていくと千束通りに出る。道路の両端にアーケードが長くつづく商店街であるが、どこか古めかしく、シャッターが下りている店も少なくない。浅草周辺とはかなり違った雰囲気だ。この商店街の先がかつて「山谷」と呼ばれていた地区である。下町の風情を感じさせる一帯に、アパートや宿舎・ホテルなどがつづき、その前には自転車が並んでいる。通りを中年ないし年老いた男性がとぼとぼ歩いているのが目につく。「山谷」地区を歩いていて、格差が広がる日本社会の現在を垣間見るようであった。



(2006年1月30日 記)